

令和2年度 第3回学校運営協議会 議事録

- 1 期 日 令和2年2月26日(金) 13:00～14:30
- 2 場 所 若宮小学校会議室
- 3 出席者 新井 壽 (連合町内会副会長) 楮山 時光(老人クラブ会長)
安藤 明美(民生児童委員代表) 渡邊 祐子(P T A会長)
廣畑 貴彦(少年団会長) 田中 彦矢 (少年補導委員代表)
桐山 朋宏(校長) 日置 達則(教頭) 満石 大輔(教務担当)
- 4 議 事
 - (1) 開会の言葉(校長)
 - 学校運営への支援・協力へのお礼
 - 第3回運営協議会の内容(学校関係者評価)及び授業参観について
 - (2) 報告事項
 - 学校自己評価結果について(重点取組事項7項目)
 - ・基礎基本・・・Iプリの説明(満石)
 - ・人権教育・・・6年生における人権学習についての説明
 - ・生活習慣の確立・・・あいさつや時間のけじめについて
 - ・教育相談・・・アセスアンケート・先生に相談の手紙を書く取組
 - ・健康教育・・・縄跳び検定・若宮オリジナルエアロビクス
 - ・情報教育・・・SNSトラブルについて。2学期におけるインターネット
トラブル防止講座・chromebookの説明と実物紹介
 - ・開かれた学校・・・CS2年目。39メール・HP等で広く知らせること
 - 令和3年度主な行事予定(案)について
スポーツ大会やオータムコンサートなどの例年とは違ったコロナ対応の行事紹介
家庭訪問や個別懇談、教育相談など保護者と担任をつなぐ日程の確認
 - (3) 授業参観
 - きらめきタイム(13:30～13:50)
電子黒板を授業に生かした場面等を参観
 - (4) 意見交換
 - 【委員A】今年、コロナにより特殊な年であったが、評価についての過去の比較があるのか？また、他校と比較した子どもの様子は？
 - ・指導の重点化を図った絞ったため、前年度までの学校評価と全項目での比較はしておらず、新たに設定した項目もある。

- ・他校との比較はしにくいですが、尾上町の子どもたちは人懐っこい。放課後も子どもの遊んでいる姿が見られる。
- ・学校が全ての取組事項について単年度で取り組むことは難しい。一年間で重点的に取り組む内容を精査し、取り組んでいる。
- ・子どもたちの学力は決して高くはない。家庭の教育力にも格差がある。
Chromebook と地域 BWA の導入は非常に有難い。これを活かさなければならぬ。

【委員 B】情報教育について、パソコン等についていけない教員（年配の先生など不得意の人）がおられるのではないですか。

- ・教員の意欲が子どもたちに及ぼす影響は大きい。子どもたちに学習を進めていかなければならない教員の姿勢が大切。

【委員 C】私の職場では、様々なものが電子化になり、メリットはあった。コロナでマイナス面もあったが、学習プリントの導入等いい面もあった。時間をぬって人権教育などをしてもらえたこともとても良いことであった。
少年団で行事をどのようにしていくのかについて悩んでいる。非接触型の競技を考えないといけないので、Chromebook を使った交流の仕方など学校にも協力を求めたい。

【委員 D】PTA では、健康第一考え、今年度は会議などの集まりを減らした。顔を合わせて集まることを減らした結果、引継ぎや意思統一がうまくできず、コミュニケーションが十分に取れていないことが多かった。やはり、人が集まることの大切さを知らされた1年であった。

【委員 C】町内会の集まりも同じことが言える。人とのつながりの大切さを知った。

【委員 E】老人会でも人とのつながりが減ってしまった。しめ縄などがなくなって、子どもの楽しそうな姿が見られなくなった。子どもと関わりを持てる機会が決まれば、早めに声掛けをしてもらいたい。

【委員 F】会議もなくなり、民生委員の訪問を待っている人方々気持ちに寄り添えなかった。

【委員 A】第一公園のプレハブ倉庫のドアが歪んでいる。警察にも来てもらったが、ドアを的にして、おそらくサッカーボールを狙って当てたものと思われる。中学校にもお願いしたが、公園の使い方について、ボールの使用禁止をお願いしたい。

(5) その他

- ・広報かこがわ5月号の取材について
- ・若宮小学校スクールガイドの配布、回覧について

5 閉会の言葉(教頭)